



# 学校だより

横浜市立六つ川台小学校

令和6年1月9日

1月号

URL:<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

E-mail:[ky-e-mutudai@city.yokohama.jp](mailto:ky-e-mutudai@city.yokohama.jp)

## はっけよい

校長 本間 明

2024年、新しい年が始まりました。皆様、新年あけましておめでとうございます。

たつ年の今年、皆様は、どのようなお正月を過ごしたことでしょうか。

十二支の中では、今年の干支である「たつ」、竜だけが想像上の動物です。

昔から世界中で、神秘的な力強い存在、縁起の良いものと考えられている竜、ドラゴン。

そんなたつ年の今年、六つ川台小の子どもたちにも、力強く育てあってほしいものだと思っています。

「お正月」の「正」の字には、「あらためる、きちんとする」などの意味があります。

「お正月」には「魂が若返り新しくなる、1年の初めの月」という意味があるのだそうです。

初春、初もうで、初夢、初日の出……、お正月にちなんだ、「初」の付く言葉、いろいろありますが、「初場所」という言葉を知っていますか。

相撲で使われる言葉です。

その年、初めて行われる相撲を「初場所」と言います。

相撲では「はっけよい、のこった」という、行司の掛け声で取り組みが始まります。

この「はっけよい」の意味には、いくつか説があります。

「八卦良い」「発気揚揚」「発気用意」などですが、ここでは「発気用意」で話を進めていきます。

まず、「発気」とは、「気を発する」。

この場合の「気」とは、「力」・「エネルギー」です。「発する」は「出す」。

「発気」とは「力、エネルギーを出せ」と言っているのですね。

また、「用意」とは、「意を用いる」。

この場合の「意」とは、「心」・「考え」です。「用いる」は「使う」。

「用意」とは、「よく考えて使え」と言っているのですね。

「発気用意」とは、「よく考え、力いっぱいやれ」ということなのです。

新年になっての学校生活は、六つ川台小の皆さんにとっても「初場所」です。

いろいろなことに対して、「はっけよい」力いっぱい挑戦してみませんか。

ただ力まかせにやるだけでなく、自分なりによく考え、工夫した上でチャレンジできると、なお良いと思います。

「今年こそは」と新しい決意をしたり、何かを始めてみた人もいることでしょう。

六つ川台小の皆さんに、今年自分が選んだことに対して、ぜひ力いっぱい取り組んでほしいと願っています。